

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) JFEケミカル株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号JFE蔵前ビル4階	
本票作成	部署名：西日本製造所 環境管理室				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容；コールタールの蒸留及び化学製品、無機材料の研究、開発、製造および販売 ・従業員；319名(令和2年7月現在)・タール蒸留量；335千t/年 				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市鋼管町9番2	
	②	倉敷工場		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(令和 元)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	150,013 t CO ₂	147,996 t CO ₂	148,513 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元)年度排出量
	①	笠岡工場	79,876 t CO ₂
	②	倉敷工場	68,120 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 元 年度 (3 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(元)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	4.0 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 設備別の補正挿入量の合計	原単位当たり排出量		
		基準年度	(元)年度	目標年度
		234 t CO ₂ /(千 t)	225 t CO ₂ /(千 t)	232 t CO ₂ /(千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和元年度は削減計画の最終年度となったが、結果はCO₂原単位は225(CO₂t/千t)となり、目標であった232(CO₂t/千t)を超過達成することができた。

原単位目標達成の要因としては、笠岡工場のタール製品、BTX製品の減産により若干の悪化はあったものの、倉敷工場のCO₂原単位が低い製造プロセスを有する電池材製品が増産となり、総合的に目標達成することができた。

【推進体制】

半期毎の予算編成時に省エネの管理部署(総括室)が各部署の省エネテーマを吸い上げ計画を策定し、実行をフォローしている。毎月、製造所長・総括室長・各工場長以下のメンバーで開催される生産会議及び環境管理委員会において、各テーマの進捗状況について担当部署が報告を行い、フォローしている。(両工場ともISO14001を取得済み)

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	(2019年度実施分) ・タール2架台省エネ蒸気トラップ導入による電力削減 (今後実施予定分) ・化成品照明のLED化による電力削減 ・石炭酸回分蒸留の操業最適化によるCガス削減
倉敷工場	(2019年度実施分) ・側塔片系列運転による処理効率化 ・熱媒ヒーター停止による電力削減 ・照明LED化による電力削減(電池材設備) (今後実施予定分) ・照明設備のLED化(メルトピッチ出荷設備) ・蒸気トラップ管理強化による蒸気削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--